

2016年8月10日発行

# サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市8番丁4・八番丁館3階

発行責任者：  
和歌山保護司会会長  
編集：企画調整保護司

第  
22  
号

TEL：073-460-9298  
FAX：073-425-1301  
E-mail：saposen\_w@ares.eonet.ne.jp

## 第66回“社会を明るくする運動”街頭啓発活動 今年は「吉宗くん」も参加 「きいちゃん」と大汗



早朝よりご苦労さまでした。  
尾花市長も「笑顔」に「一声」  
添えて啓発活動に・・・

去る7月1日、午前7時30分よりJR和歌山駅頭において第66回“社会を明るくする運動”の街頭広報活動が実施された。

今年も、県市合同での開催となり和歌山保護司会より102名の保護司を中心に、県・市推進委員会を構成する機関・各種団体より計228名もの参加者が所属団体名入りのタスキをつけ広報活動に汗を流した。



広報活動終了後の午前8時10分より“わかちか広場”において宮本犯罪予防部会長の司会進行で恒例のメッセージ伝達式が行なわれた。

熊部観察所長の開会の言葉で始まり、今年も桂 枝曾丸・社明大使より「総理大臣メッセージ」を県知事代理（日吉環境生活部長）に、尾花和歌山市長には「県知事メッセージ」



▲和歌山市小学校長会からも大勢参加

も添えて手渡された。

挨拶には、千葉和歌山地方検察庁検事正、県社明推進委員長の仁坂知事（代理・日吉部長）並びに市推進委員長の尾花市長の三氏が立ち、参加者は最後まで耳を傾けた。

県・市推進委員会副委員長の小西和歌山県保護司会連合会会長の閉会挨拶で8時50分に終了した。



## メッセージ伝達式

●参加者内訳●  
 県/市 27名・観察所 4名・保護司会 102名・更生保護女性会 47名・BBS 4名・市保護観察協会 1名・県推進委員会 17名・市推進委員会 31名・きいちゃん・吉宗くん 6名・社明大使 合計 228名



1: 総理大臣メッセージを受ける県知事代理 2: 尾花市長挨拶 3: 千葉検事正の挨拶 4: 小西会長の閉会挨拶 5: 開会の言葉・熊部観察所長

## 平成 28 年度 南支部「社明講演会」 盛会の内に終了す

- ・平成 28 年 7 月 15 日(金)
- ・紀の国志学館
- ・講師：古川 淑子 先生

7月15日、紀の国志学館において和歌山保護司会南支部の社明講演会が開催されました。

今年は、古川カウンセリングルームの古川淑子先生に「カウンセリングを通して見えてきた 家庭と地域のあり方」という演題で話をして頂きました。日頃の活動の体験から生まれてきたお話で、迫力満点の話し

振りと、話の内容が身につまされる事も多く、笑ったり、ホロッとしたりのアツと云う間の90分でした。

演題も身近なものだったのか、支部保護司 17 名を含め 90 余名ほぼ満席の盛会ぶりでした。

私も、お話の根幹であった「受容と共感」になるほどと思いました。とにかく子どもでも大人でも、人の話には、口を挟まず最後まで耳を傾けることの大切さ。そして、その上で「そうだったの、大変だったね」と共感する。

この様な態度で話を聞くと、話す方としても、話を聞いてもらい、心が安定するだろうし、より心を開い

てくれる。また、どんな人(子)も、大切な存在であることを語りかけ、自分を大切にすることを伝えることで、話し相手に自己肯定感を持ってもらうことができる。そのことの重要性を強く思い知った今回の講演会でした。(犯罪予防部長・杉谷 記)



## 和歌山北支部<<夏の子供を守る運動行事>> 中学生に対する「薬物乱用防止教室」の開催

北支部では、夏の子供を守る運動行事の一環として、7月4日(月)の一時限目に、楠見中学校の1年～2年生を対象とした薬物乱用防止教室を開催しました。

講師は、薬物乱用防止指導員で犯罪予防活動部会長の宮本保護司。パワーポイントを活用し、「華岡青洲」(世界で初めて、全身麻酔を用い手術した)や「アヘン戦争」等の話を交えながら、薬物の恐ろしさ、影響などについて話をしました。



体育館に集まった約300人の生徒たちは、私語もなく終始その話に集中して聞いており、一応の効果があつたのではと思います。(宮本 記)

### 社会を明るくする運動 パームシティで 「街頭啓発活動」を実施!

●7月16日(土)午前11時～



▲「元気に遊んでね・・・」  
やさしく声掛け物品配布

7月16日(土)午前11時からパームシティの買い物客に対して、社明運動の啓発活動を行いました。

今回も、更生保護女性会と連携しての啓発活動となり、啓発の効果はあつたものと考えている。

(宮本 記)

### 栗婦人会で 「更生保護」についての 特別研修会が開かれました。

栗婦人会の研修として、7月11日栗自治会館において和歌山保護司会小西会長を講師に招き「更生保護 立ち直りをささえるしくみ」と題して

## 「社会を明るくする運動」 地域ミニ集会を開催

□と き：7月23日

□ところ：河北コミセン

7月23日河北コミュニティセンターで開催された地域ミニ集会には、保護司会・地域連合自治会・地域各団体関係者ら70名が参加。

講師の観察所金山企画調整課長の講話を約一時間にわたり熱心に聞いて頂きました。



▲パワーポイントを使って・・・

更生保護の成り立ちから現在の更生保護の取り組みについての勉強会をしました。

受講者からは「パワーポイントで楽しく話してくれ、内容も解りやすく良い勉強をさせていただいた」と好評でした。

## <<西支部の活動報告>> 今年は広瀬地区で 「社明ミニ集会」を開催

7月13日、観察所金山企画調整課長に講師をお願いし広瀬地区会館においてミニ集会を開催しました。

地域の方々や更生保護女性会、小学校PTAの方のご参加もあり40名近くで更生保護についてじっくりと考える時間をもちました。

広報ビデオは、テレビコマーシャルでおなじみの吉本興業の鉄拳氏によるパラパラ漫画で、一人の少年の表情から心の動きを描いたものを、

もう一つは、東京での「立ち直りを支える方と語る会」の会場での発言を収録したものの2本でした。

その後、課長からは「日本の更生保護の特徴」「居場所づくり」「社会とのつながり」及び、最近の薬物事犯に関する動向として「刑の一部執行猶予」「薬物依存に関わる医療機関について」等・・・。

また、キャラクターのホゴちゃんには、険しい顔からだんだんに今の穏やかな表情に変わっていく過程の4コマ漫画があること等、盛り沢山なお話を聞かせていただきました。

(西支部・得津 記)



# 第44回県更生保護女性連盟／中央ブロック研修会 会員ら182名 終始熱心に研修

平成28年7月29日(金) 和歌山市中央コミュニティセンター3階

研修内容：①基調講演 女子刑務所における現状と問題点  
講師：和歌山刑務所所長 松浦 富貴子  
②意見発表 「一億総活躍社会の実現に向けて  
～更生保護女性会のあり方について～」



写真：全体研修

7月29日、和歌山市中央コミュニティセンター多目的ホールにおいて第44回県更生保護女性連盟中央ブロック研修会が、市更生保護女性会第7分会の担当で開催された。参加会員は182名。来賓として尾花和歌山市長、熊部和歌山保護観

察所長、小西県保護司会連合会長、和歌山保護司会の3名の副会長らが出席された。午後1時より第7分会・江川恵美会長の「開会の言葉」で幕を開け、主催者の石谷県更女会長と熊部観察所長が挨拶。続いて、尾花和歌山市

長と小西・県連合会会長が祝辞を述べられた。

その後、基調講演に。講師は和歌山刑務所所長の松浦富貴子氏、テーマは「和歌山刑務所の現状と課題」について。パワーポイントを用いた60分の分かりやすい話に、全員興味深く聞き入った。

休憩を挟み、意見発表とそれを受けての全体討議に移り、午後4時に都留・第8分会会長の「閉会の言葉」で熱い研修の閉幕となった。

■司会・進行：馬場 秀代（第7分会）

■意見発表者

- ・副題 ①：前田 典子（第2分会）
- ・副題 ②：西野 桂子（第9分会）
- ・副題 ③：河島 美幸（第1分会）

■全体討議（質疑応答）

- ・助言者：山崎 利起（企画調整課）
- ・助言者：石谷 秀子（県更女会長）
- ・議長：武内 優子（第5分会会長）
- ・副議長：名方 繁子（第2分会会長）

■講評：金山 忠夫（企画調整課長）



▲マイクを握る松浦和歌山刑務所所長

## 行事「お知らせ」掲示板

①平成28年度更生保護女性会・協力雇用主会との合同研修会  
と き：平成28年9月12日(月)  
15時30分～  
ところ：紀三井寺はやし3階

②平成28年度和歌山県  
更生保護功労者顕彰式

・と き：10月26日(水)  
・ところ：ホテルグランヴィア和歌山

③平成28年度 和歌山保護司会  
合同自主研修会(体験発表会)

・と き：11月13日(日)13:30～  
・ところ：河北コミュニティセンター

サポートセンター  
からの「お知らせ」

本年度より原則水曜日は  
休館日となっています。

月に2回、日曜日に関館して  
います。(第2・第4日曜日)  
対象者等との面談や支部行事  
等で利用を希望される方は、  
遠慮なくお申し出ください。

開館曜日・時間等について  
は、可能な限りご要望にお応  
え致します。

サポートセンター和歌山  
TEL 073-460-9298